

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

社会福祉法人ちとせ交友会

つきのさとこども園

1、本園の教育・保育目標

- ・生き生きとし、元気に遊べる子
- ・友達としっかり関わり、育ちあう子
- ・自分で考え、行動する子

2、本年度重点的に取り組む目標・計画

認定こども園法及び子ども・子育て支援法、児童福祉法、その他の関係法令などに基づき、乳幼児及び幼児への教育・保育の一体的な提供を通して、全園児が新しい環境のもと、落ち着いて生活と学びが実施され、心身の健やかな育成に最もふさわしい生活の場を提供する。園児が主体的に活動でき、自律を促す教育・保育環境を整える。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

| | 評価項目 | 評価 | 取り組み状況 |
|---|-----------------------------------|----|--|
| 1 | 保育目標や内容がよくわかるように説明や情報を提供している | A | 園内に目標を掲示、毎月の園だよりでクラスの取り組みを写真で知らせた。発表会、参観日に園児の活動を通してねらいや育てたい姿を保護者に伝えた。 |
| 2 | 園児たちの意欲や主体性を育む教育を行っている | A | 年齢に応じたカリキュラムの実践と環境を整えてきた。参観日には園児の普段の姿を見てもらう時間と親子で活動を楽しむ時間を設け、実際に体験をしてもらったことはよかったという意見があった。 |
| 3 | 保育教諭は一人ひとりの園児をよく理解し、誠実に保育・教育をしている | A | 園児一人一人に寄り添い、ねらいをもって対応を心掛けた。ただ、保育教諭の思いを通して感じられる場面もあったので、今後も引き続き見直していく項目であると感じる。 |
| 4 | 保育教諭は園児の個性を大切にしている | B | 特性や得意不得意なことを理解しながらチャレンジできる環境を準備した。保育教諭主導ではなく、園児の姿からチャレンジできる環境を整えるよう話し合いを重ねた。 |

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4、総合的な評価結果

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| A | 掲示や配布だけでは、目標や思いは伝わりにくいので、発表会や参観日に園児の活動を通して生の声で伝えることは効果的で熱量も伝わったのではないかと感じている。引き続き発信しながら、園児の姿を通して伝える技量を職員全員で磨いていきたい。その為には、理解と実践と振り返りが不可欠で、園児一人一人に寄り添った適切な保育・教育を行ってきた評価だと感じる。 |

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5、今後取り組む課題

| | 課題 | 具体的な取り組み方法 |
|---|-----------|--|
| 1 | 環境 | 幼児が主体的な活動ができる環境になっているか。 自律的に考え行動できる環境になっているか。 |
| 2 | 質の向上 | 適切な保育・教育が行えているか。 |
| 3 | 架け橋カリキュラム | 小学校との連携を大切に継続した学びの共有ができていくか。 |

6、学校関係者評価委員会の評価

保護者より、運動会や発表会以外でも様々な行事や活動を工夫して計画しており、子どもが毎日楽しく通えているといった意見やトラブルがあった際には、状況や子どもの反応、指導内容を丁寧に伝えてくれる、一人一人をよく見て関わってくれていると感じるなど意見を頂いた。特にコメントはなかったが、「個性を大事にしているか」「一人一人を大切に誠実に保育・教育できているか」に対してB評価もあったので、引き続き職員の質の向上が必要だと感じた。